

SUPOR廃棄物の回収と資源化利用の実践を深化させる

SUPORは廃棄物回収システムを整備し、“古いものを新しいものに交換する”と“交換を修理に代える”等の革新的なサービスモデルを通じて、消費者を環境保護行動に参加させ、資源の循環利用を促進する。

SUPORは国の古い製品から新しい製品への買い替え政策に積極的に応え、2024年にはオンライン・オフラインチャネルと連携して専門の活動を展開し、年間を通じて12万台の小型家電の買い替えを実現し、127の専門拠点を通じて1万台の買い替えを推進した。

2024年、SUPORは“交換を修理に代える”と、“古いものを新しいものに交換する”サービスを最適化し続け、特別補助金によって消費者の買い替えコストを削減し、ユーザーのスマート家電へのアップグレードを支援するとともに、家電業界のグリーン化、スマート化、高品質化への転換と発展を促進した。

Midea “国際持続可能な水管理基準”の認証を取得

2025年3月、Mideaの年間ESG報告書が発表され、Mideaの家庭用エアコン工場である順徳工場（広東美的制冷設備有限公司）は卓越した水資源管理システムにより、TÜVの“AWS国際持続可能な水管理基準”のプラチナ級認証を取得し、世界で同業界初の取得製造拠点となった。

同工場は全員の節水行動、技術革新及び戦略協力を通じて、水資源管理の効率を持続的に最適化している。生産プロセスの高度化とスマート化改造により、生産用水の100%クロズドループと廃水の100%再利用を実現し、水資源の消費と汚染物の排出を大幅に低減することに成功した。

Mideaはスマート水循環システム、生産プロセスの節水技術、サプライチェーン水資源管理を通じて、全プロセスで節水の効率化を実現すると同時に、ESG理念をサプライチェーン管理に融合し、水資源デジタル化モニタリングプラットフォームを構築し、全バリューチェーンのグリーン転換を推進し、持続可能な発展業績を向上させる。

GREE グリーン発展をイノベーションし、リードする

2024年、GREEは研究開発に71.4億元（売上高3.77%、前年同期比+1.9%）を投じ、グリーン低CO₂、スマート個性化、健康&快適の3つの方向に焦点を当て、家庭用エアコンと生活家電の分野でキーテクノロジーの突破を実現した。

GREEのAI省エネシリーズの家庭用エアコンを例にとると、製品はスマートインバーター技術とAIチップを搭載し、年間エネルギー効率を13.6%向上、年間で3.08億KWHの節電を実現し、二酸化炭素を30.67万トン削減した。

GREEは“技術で省エネ+製品で排出削減”を核心とし、AIアルゴリズムの最適化とスマートチップの応用を通じて、重点的にエアコンのエネルギー効率を向上し、グリーン技術への正確な転化へ研究開発投資し、全産業チェーンの低炭素化のアップグレードを牽引する。

九陽はESG責任を積極的に実践する

2024年、九陽は持続可能な環境保護の理念を消費者に伝えることを徹底した。オフラインでは、九陽はノンコーティング炊飯器等の環境保護製品を重点的に普及させ、使用年数を長くすることで資源の浪費を減らす。同時に中古品を新品に交換する活動を展開し、年間約20万台の中古家電製品を回収し、電子ゴミの減量と資源の循環利用を効果的に促進した。オンラインでは、商品のエネルギー効率表示を改善することで、消費者が環境保護商品をはっきりと選択できるようにした。

九陽のグリーン戦略は“製品+回収”の二重循環に焦点を当てている：耐久性のある環境保護製品の開発を通じて資源消費を減らし、古いものと新しいものを交換するシステムを構築して電子ゴミの回収を推進し、デジタル化の手段を利用して消費者の環境保護意識を高め、生産から消費までの完全なグリーンクロズドループを形成する。